

都市再生整備計画 事後評価シート
福山駅南地区

平成29年3月

広島県福山市

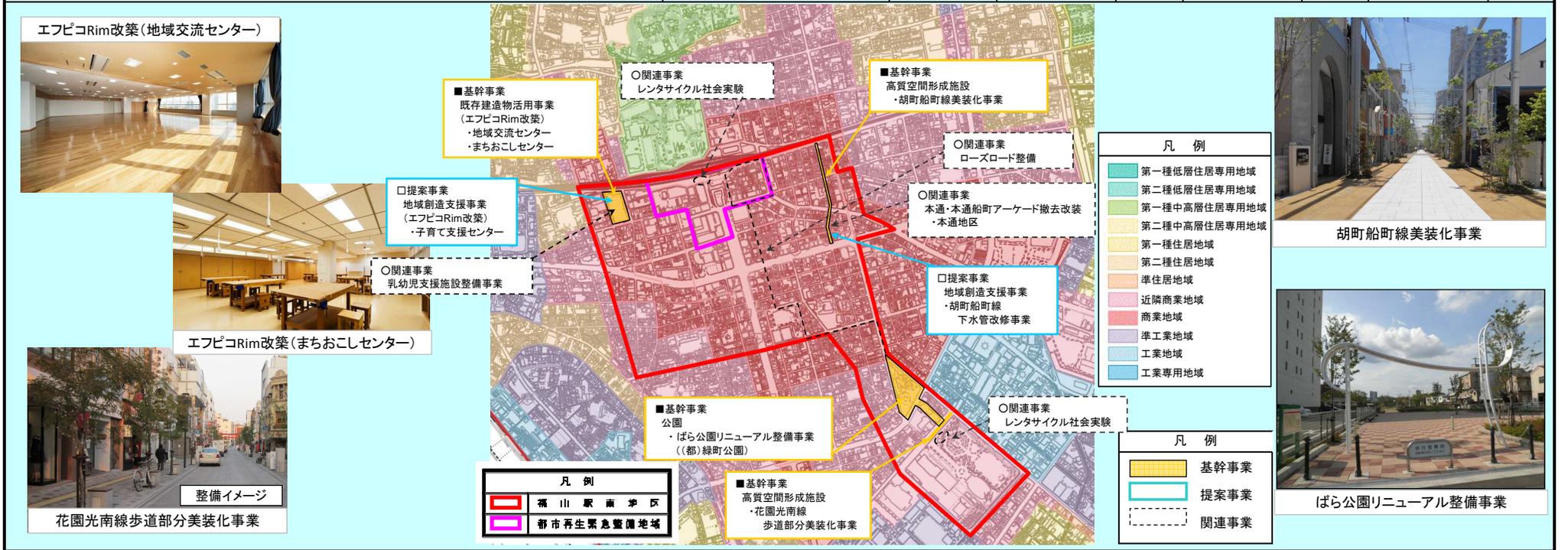
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県	市町村名	福山市	地区名	福山駅南地区			面積	123ha						
交付期間	平成25年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	659百万円		国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園【ばら公園リニューアル整備事業】、高質空間形成施設【花園光南線歩道部分美化事業】、既存建造物活用事業【地域交流センター、まちおこしセンター】												
		提案事業													
	当初計画から削除した事業	基幹事業	既存建造物活用事業【子育て世代活動支援センター】			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし			提案事業に移行した			影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設【胡町船町線美化事業】			商店街のアーケード改修事業と協働して、商店街の利用環境改善を行う			影響なし						
提案事業		地域創造支援事業【子育て支援センター】			基幹事業から移行した			影響なし							
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			なし								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ					
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期					
	指標1	流動客数	人	124,731	H24	124,731	H28	-	109,838	△	あり	なし	●	不況による買い物客の減少や近隣都市において大型商業施設が開業した状況のなか、福山駅周辺の大型集客施設の閉店をはじめ、中心市街地の商業機能が低下している影響が大きく、目標の達成には至らなかった。しかし、都市再生整備計画に位置付けた各種事業の実施により、賑わいが再生し、流動客数が増加している地点も見受けられる。	H29年8月
	指標2	中心市街地内の人口	人	5,632	H24	5,913	H28	-	5,667	△	あり	なし	●	地価の下落による建替えの促進や販売価格の低下によるもののほか、都市再生整備計画に位置付けた各種事業の実施により、中心市街地の魅力がより高まりつつあることなどから潜在的な都心回帰のニーズが呼び起こされ、人口が増加した。	H29年4月
	指標3										あり	なし			
指標4											あり	なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ					
その他の数値指標1			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期					
4)定性的な効果発現状況	商店街の賑わいを再生し福山駅周辺地域の回遊性を高め中心市街地の活性化を図ることを目的として、地元商店街が行うアーケード改修と併せて、胡町船町線美化事業を行ったことにより、整備後の維持管理や利用形態など当該地域のまちづくりの方向性を共有することができた。														
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等								
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし								
	住民参加プロセス	本通地域(本通・本通船町)環境整備事業促進連携会議を開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後のまちづくりの方針等を決定するに当たり、地元商店街等と関連のあるものについては、地元商店街等と連携を図る。								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし								

様式2-2 地区の概要

福山駅南地区(広島県福山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標名	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
大目標: 備後都市圏の拠点として、人を惹きつける中心市街地の創造 目標1: 中心市街地の魅力を高める施設を整備することにより、福山駅を中心に歩行者の回遊性を高め賑わいを再生する。 目標2: 市制100周年に向けて、福山駅から「ばら公園」への動線を強化し、ばらの街福山の魅力を発信する。	流動客数	単位: 人	124,731	H24	124,731	H28	109,838	H28
	中心市街地内の人口	単位: 人	5,632	H24	5,913	H28	5,667	H28
		単位:						
		単位:						



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・計画区域内における居住人口は増加傾向にあるほか、商店街の空店舗の活用など、周辺地域が連携した賑わい創出活動の動きが起っており、一定の効果が見られた。 ・大型商業施設内に公共施設を整備したことにより、新たな回遊性が生まれ、商業施設への波及効果も見られる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の賑わいを創出するため、ソフト事業の充実等、地域の事業者と商工会議所等が一体となって展開する施策に対し、必要に応じて支援を行う。また、伏見町地区及び福山駅前の大型集客施設跡地の整備事業化に向け、状況に応じた効果的な支援を行う。 ・大型商業施設と公共施設等を一体的に整備した特徴を活かし、イベントの開催や、地域交流センター・まちおこしセンターで開催する各種講座の充実を図る。